

ダンススポーツ普及中長期計画書

ブレイキン

2025年3月15日策定

ブレイクダンス本部のMISSION

JDSFのMISSION JDSFは新たなダンス界の未来を創り出し
人々に躍動的なエネルギーを届け
日本中を幸せな気持ちで満たし続けます

オリンピックを目指す競技スポーツとしてのダンスのみならず、
老若男女誰もが楽しめる「ダンス」を通じて、
多くの国民がいつまでも若々しく・健康で・恰好よく
「人生を舞う」社会を実現します

JDSFブレイクダンス本部は、
都市型スポーツとしてのブレイキンの発展を促進し、
競技スポーツと文化の両側面を融合させながら、
国内外での競技力向上と社会的認知度の拡大を目指します

ブレイクダンス本部のVISION

JDSFのVISION 誰もがスポットライトを浴びる世界へ

「体験」の質に徹底的にこだわり抜き、熱狂の渦を作りだし、
そこでしか味わえない最高の感動体験を生み出し続けます

誰もがストリートダンス（ヒップホップ、ブレイキン等）を通じて
自己表現し、スポーツとしてのブレイキンを楽しめる社会を実現します

2032年ブリスベンオリンピック、2026年ユースオリンピックを見据え、
次世代の競技者育成と国際的な競争力の強化を進めます

ブレイキンが「都市の文化的アイコン」として根付くよう、
（ストリート）カルチャーとの連携を強化します

(1) ターゲット

ブレイキンの普及には、**競技スポーツとしての成長**と**ストリート文化の継承**を両立させることが重要です。そのため、以下のターゲット層を設定します。

ターゲット	年齢層	特徴・アプローチ
ジュニア（育成層）	18歳未満 <small>(ユースオリンピックの年齢上限まで)</small>	<ul style="list-style-type: none"> 部活動地域移行や部活動、地域クラブを活用し、カルチャー理解とダンスに触れる普及活動 ジュニアカテゴリーへの参加（初心者クラス・通常クラス） ユースオリンピック候補選手の育成
一般競技者（エリート層）	18-30歳	<ul style="list-style-type: none"> ナショナルチームとしての強化 国際大会への派遣強化 フィジカル&メンタルトレーニングの導入
ストリートカルチャー層	12-35歳	<ul style="list-style-type: none"> ブレイキンはチームバトルを訴求/フリースタイルカテゴリーの導入 国内のダンスコミュニティ、組織、大会との連携 SNSを活用した文化の発信
観戦・応援層	20-50歳	<ul style="list-style-type: none"> メディア露出を増やし、競技としての魅力を発信 選手が発信するUGCの協働作成や共同投稿 企業スポンサーシップの強化とアクティベーションの協働

(2) 具体的な普及施策

教育機関での普及

1. 小・中学校の体育授業にブレイキンやフリースタイルを組み込み、ダンススポーツとしての認知を拡大
2. 部活動地域移行（展開）の活動として、全国の部活動やクラブチームに向けた指導者養成プログラムを設計

イベント・大会の拡充

1. 全日本ブレイキン選手権（ジュニア・一般）
2. **WDSF公式大会と連携した国際大会**を実施
3. 一般層が参加しやすいフリースタイルバトルやエキシビジョンイベントを展開

メディア戦略・SNS活用

1. **YouTube・Instagram・TikTok**を活用したプロモーション
2. **アスリートのストーリー**を発信し、競技としての魅力を訴求
3. 日本代表選手のトレーニングや大会映像を配信し、観戦者層を拡大

カルチャー・アーバンスポーツとの連携

1. ダンスに関連するその他法人やDJ、アーティスト、ファッションなどの業界と連携し、カルチャームーブメントとしての魅力を発信
2. フェスや音楽イベントとのコラボ企画を推進

中長期目標

年 度	目 標
2024年	パリオリンピックでの日本代表のメダル獲得
2025年	世界選手権の誘致・成功、フリースタイルカテゴリーの立ち上げ
2026年	アジア大会・ユースオリンピックでの日本代表選手の活躍、学校教育への導入促進
2027年	国内ブレイキン登録選手数2,000人以上、フリースタイルカテゴリー登録者 1 万人
2028年	アーバンスポーツとの共同プロジェクト等の実施によるファン増加 国スポの成功・各県代表の活躍

ブレイキンと社交ダンスの融合ポイント

JDSFが社交ダンスとブレイキンを統括する団体の強みとして**両者の共存と相乗効果が期待されます。**

競技のシナジー

ブレイキン、フリースタイルを通じてJDSFに新たな若年層を取り込み、社交ダンスへの関心を広げる。

共通の価値観

ブレイキン、フリースタイルの競技特徴である自己表現
ダンスを通じた社会的つながりの強化

マーケティング

JDSF全体のブランディング強化のため、都市型スポーツとの融合イベントの企画